

# 留 学 報 告 書

記入日：2023年11月27日

留学先国	ドイツ
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) ゲーテ大学 (英) Goethe University
留学期間	2022年8月～2023年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2023年12月03日
明治大学卒業予定年月	2024年3月

留学費用項目	現地通貨 (EUR)	円	備考
授業料	0 EUR	0 円	学部間協定留学の為、授業料無し
宿舍費	2,658 EUR	422,622 円	214 EUR×6 ヶ月(前期)+229 EUR×6 ヶ月(後期)
食費	1,400 EUR	222,600 円	
図書費	0 EUR	0 円	
学用品費	0 EUR	0 円	
被服費	548 EUR	87,132 円	
医療費	0 EUR	0 円	
保険費	288+800 EUR	172,992 円	24 EUR×12 ヶ月+明治大学保険
渡航旅費	1,450 EUR	230,550 円	
雑費	400 EUR	63,600 円	
	2,091 EUR	328,287 円	PC 購入
その他 (Travel fee)	2,400 EUR	381,600 円	近隣諸国訪問の旅費
(Travel fee)	4,592 EUR	730,128 円	イラン旅行旅費
その他 (Semester Fee)	676 EUR	107,484 円	326 EUR (前期)+350 EUR (後期) (学割交通パスを含む)
合計	17,303 EUR	2,751,177 円	1 EUR=159 円

## 渡航関連

渡航経路	往路	東京→フランクフルト
	復路	フランクフルト→成都, 成都→東京
渡航費用	チケットの種類	学生
	往路	750 EUR
	復路	700 EUR
	合計	1,450 EUR

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

カタール航空

滞在形態関連	
種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
寮	
部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数：      ）
住居を探した方法	
大学公式サイトでの先着順	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
みなさんがフレンドリーで、常に炊事をしながら会話をする。異なる信仰や文化からの人が集まっているので、初めて聞く話が多い。時々ショックを受ける。ドイツの大学では学生用の寮がある。政府背景の基金会のような組織が学生に支援しているので、家賃が一般の部屋と比べるとかなり安い（224EUR）。さらに、寮で知り合ったドイツ友人と趣味クラブを起業し、クラブで常に一緒にゲームをやっていた。50年を超えている寮なので、施設が老化しているけど、頑丈である。	
現地情報	
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input type="checkbox"/> 利用した；	
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
基本的に友達や家族と相談する。もし知り合いがなければ、大学のコンサルティングに聞いたほうがいいと思う。	
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
危機地域情報は外務省のアプリの通知から送られていた。	
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？	
寮のインターネットはとても安定である。	
現地での資金調達はどのように行いましたか？	
事前にお金を日本から持って行ったので、送金する必要がなかった。また現地の口座を持つことが非常に重要である。多くの店ではドイツ発行カードしか使えない。	
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
基本的にない、もし記念品を誰かに差し上げたい場合は、日本の特産物を持って行ったほうがいい。	
進路・卒業後にやりたいこと	
進路	
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他：世界旅行	
進路決定の際に参考にした資料、図書、期間など	
自分一人でヨーロッパ諸国と中東諸国、また中国を自転車で横断しました。その経験をもっと活用して行きたいです。人生は進学、公務員、就職だけではない、目指す道がある日を見つけるだろう。	

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
4単位（1科目）	<input checked="" type="checkbox"/> 2単位（1科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）
履修した授業科目名（留学先大学言語）	MANAGEMENT
履修した授業科目名（日本語）	マネジメント
科目設置学部	経済学部
履修期間	春学期
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教員	professor Kosfeld, Michael
授業内容	マネジメントについて
試験・課題など	期末試験があり
感想を自由記入	初めて経済に関する授業を履修しました。この授業は前の授業も履修したことがある人向けなので、未経験者にとって難しかったです。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Monetary Theory & Policy
履修した授業科目名（日本語）	貨幣理論と政策
科目設置学部	経済学部
履修期間	春学期
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教員	Meyer-Gohde
授業内容	貨幣理論と政策について
試験・課題など	期末試験があり
感想を自由記入	友達と一緒に履修した科目です。同じく前の初級レベルを履修した人向けの授業です。最初は理論が全然分からなくて、ドイツ語で説明していたので、理解するのが難しかったです。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	1965 in Indonesian short stories
履修した授業科目名（日本語）	インドネシア短編集における1965年
科目設置学部	東南アジア学部
履修期間	春学期
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教員	Silvia Mayasari-Hoffert
授業内容	1965年インドネシアで発生したことを背景に、文学理論の角度から短編小説を分析する授業です。
試験・課題など	written paper, oral report

感想を自由記入	わたしを除いたら、参加者の出身はほぼインドネシア出身でした。彼女たちの立場から初めてインドネシアの1965年を知りました。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	German INTENSIVE course for EXCHANGE STUDENTS DIA-Kurs
履修した授業科目名（日本語）	交換留学生向けドイツ語集中コース
科目設置学部	International Study Centre
履修期間	4週間
単位数	4
本学での単位認定状況	2単位認定（予定）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1週間に255分が4回
担当教員	Ninya Beck
授業内容	ドイツ語講座
試験・課題など	
感想を自由記入	とても忙しい四週間を過ごし、辛かったけど、ドイツ語の学習に役に立ったと思います。教室内の雰囲気もいいし、フランスやイタリアからの交換留学生が集まり、多国籍クラスです。

## 留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関して発生した事項を記入してください。

2021年11月～12月	IELTS 受験 ドイツ留学申請 ドイツ語学習（独学）
2022年5月	ドイツへのビザ申請
8月 9月	留学開始 渡独 ゲーテ大学にて pre-semester German language course（学期前の交換留学生向けドイツ語集中コース）に参加
10月～12月	秋学期開始
2023年1月～3月	学期末試験 スイス旅行
4月～7月	春学期開始
8月	学期末試験

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	海外の大学で勉強したく、新入生の時に日本と中国以外の国に交換留学をしようと思いましたが、コロナのためずっとできませんでした。ようやく緊急事態宣言が解除され、留学先を考え始めました。アメリカや南米諸国も考えたけど、予算のためにやめました。そして、ヨーロッパの文化雰囲気にずっと興味があり、ドイツの文化も魅力で豊かだと思います。そして、アメリカと比べると安全性もあり、予算が限られている人にとって最優先です。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	まず、日本国内で英語や現地言語に早めに慣れておけば助かります。現地の使用言語が英語ではない場合がとても多く、英語だけでは意思伝達ができない状況が多いです。そして、相手の文化も事前に理解できれば、お互いに共通のトピックが出やすいです。同時に、自分の文化についての紹介も必要です。会話練習をしたい場合は、言語学部の人に事前に連絡し、tandem（アプリ）を利用するといいです。最後に、自分の興味があることに関わるグループを探すと、友達を作りやすいです。
この留学先を選んだ理由	ヨーロッパの大学ですと勉強したかったことと、ヨーロッパ諸国を旅行したかったからです。ドイツという国は、ヨーロッパの中心にあり、Deutsch Bahn（旅行予約サイト）や格安飛行機、FlixBus などを利用して近隣諸国に行きやすいです。そして、ドイツ語を勉強するには現地で学習すれば早く身につくと考えたからです。さらに、日本よりドイツの生活コストがはるかに安いです。ドイツは多文化社会で、ドイツ人だけでなく、多くの国からの人が集まり、アジアで見たことがない様々な文化活動が見られます。

<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>みなさんがとてもまじめです。ドイツではインターンシップが必須なので、授業と仕事を両立しなければなりません。学期中にインターンシップをする人も多く、授業に出席できずに独学をする学生も多いです。学期中にあまりキャンパスに来られない学生も、試験前には大学で自習するため、期末試験期間はキャンパスに急に学生が増えます。ドイツの大学生はとても忙しい日々を送っています。学生協会も日常的に様々な活動を行い、登山や交流会などに参加しました。友達を作る機会が多いです。</p>
<p>交友関係</p>	<p>ヨーロッパは友人を作りやすいです。皆さんが友好的で、町で誰に会っても気軽にあいさつをします。そして、共通点や趣味があれば友達を作りやすいです。初めて会った人でも話が合えば、家で一緒に食事をしようとして誘ってくれます。心理的な距離があまりありません。開放的な性格の人が多いです。私は旅行が好きで、道中でいつも新しい国の人と仲良くなり homestay をしました。それをきっかけに相手の文化や自国の政治のあり方をさらに理解することができました。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>少人数ゼミナールを中心にする授業が多いです。先生が学生同士で自主的、協力的に任務を遂げることを奨励します。常にグループメンバーで会っていました。印象的にディスカッションが多く、日本の雰囲気と違ってメンバーが自信を持って自分の主張を述べることが多いです。激しい弁論が日常茶飯事です。勉強内容は、東南アジアを中心に勉強していました。東南アジア出身のクラスメートが多く、彼女たちから普段は聞くことができないような意見を聞くことができます。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>ドイツ大学の試験が特に難しかったです。授業外での努力も重要なので、常に自律性を保ち、自主的に勉強する習慣が大事です。勉強圧力がとても重いのがドイツの大学の特徴で、急に大学に来なくなってしまう学生も少なくありません。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>ドイツ近隣諸国のほか、トルコやイランへも旅行しました。 トルコの難民キャンプでシリア人の難民と出会い、友達になりました。 イランでは友達の誘いを受けてパーティーに参加し、イランの普通の人々の本音を聞きました。イラン人の友達の家に 1 週間ほど滞在し、イランとトルコの現状を深く理解しました。 シーア派ムスリムの行事に参加し、イラン文化を体験しました。 カッパドキアのモスクに 1 泊しました。</p>
<p>ある平日のスケジュール</p>	<p>8 時：起床 9-12 時：授業準備 12-15 時：授業 15-18 時：自由時間 18-20 時：晩御飯 20-22 時：自由時間 23 時：就寝</p>
<p>ある休日のスケジュール</p>	<p>8 時：起床 9-15 時：バイト 15-20 時：授業準備 20-23 時：自由時間 23 時：就寝</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと</p>	<p>自分が全く知らない未知の環境でカチャーショックを感じるかもしれませんが、それを拒否せず、理解しようとする姿勢で臨めばなんとかなります。英語が万能な言語ではなく、できればある程度現地の言葉を話せた方がいいと思います。すべてのことに対して柔軟性を持つことが重要で、あまりに真面目にしすぎると、たぶん負けると考えます。新しいことに挑戦し、自分の思うあたり前を破ることも留学の楽しさです。</p>

授業の課題でフランクフルト市場へ



大学の校舎



自転車旅行へ



リスを発見



オーストリア国境近くのケーニヒス湖へ



寮で友人たちと食事



クリスマス時期の街並み

